

令和4年度第1回名取市下水道建設委員会会議録

- 1 日 時 令和4年12月26日(月)午後3時30分～午後4時30分
- 2 場 所 名取市役所 議会棟第1・2委員会室
- 3 出席委員 八巻健(会長)、小島哲夫(職務代理)、森良二、黒田正志、三浦妙子、石川恵一、石川明美、大友正之、大友克志、小野忠雄
欠席委員 阿部文男、古山均
- 4 事務局 建設部長 村上諭、建設部次長兼下水道課長 菊地浩幸
課長補佐兼下水道総務係長 阿部正志、技術主幹兼維持係長 伊藤博紀、建設係長 古山幸永、排水設備係長 鈴木達朗
下水道総務係 鈴木香奈恵 千田渉太
- 5 傍聴者数 1人
- 6 内 容

(1) 開 会

(事務局より会議が成立する旨を報告)

(2) 市長あいさつ

本日は、年末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本市公共下水道事業の汚水整備につきましては、昭和51年度に工事に着手し、以来40年以上にわたり継続して整備をしてまいりましたが、令和2年度で整備が完了しました。

令和3年度末における本市の公共下水道普及率は、93.2%となり、全国平均の80.6%、宮城県平均の83.3%を上回り、着実に整備が行なわれた成果と捉えているところでです。

一方で、今後は、設備の老朽化に伴う、維持・修繕費用の負担が増加することが見込まれており、いかに適正な管理を将来に亘って行っていくかが課題となっております。

雨水事業につきましては、増田5丁目地内に雨水調整池が完成し、現在は、県道仙台名取線(旧国道4号)までの区間の函渠整備を進めているところでございます。

また、農業集落排水事業は、現在、大曲地区のみとなっておりますが、今後の施設の維持管理費や更新費用の軽減等を図るため令和7年度を目途に公共下水道事業へ統合することとしております。

本市下水道の状況につきまして何卒ご理解いただきまして、整備事業や下水道経営に対する諸問題につきまして、皆様それぞれの立場からご意見などを伺い、より良い事業の推進に取り組んで参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上を持ちまして、挨拶とさせていただきます。

～出席委員による自己紹介を行った～

～事務局の紹介を行った～

(3) 会長選出

- ・八巻健委員を会長に選出した。

～市長退席～

(4) 会長あいさつ

ただいまご紹介いただきました八巻でございます。前期に引き続き今期も皆さまひとつよろしくお願ひします。本日は大変お忙しいところ委員の皆さまにはご出席賜りましてありがとうございます。さて、この度前期に引き続きまして会長という大任を引き受けることとなりました。会の運営につきまして、皆様のご支援ご協力を切にお願いしまして、わたくしも精一杯務めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

当委員会は、市長の諮問に応じて下水道建設計画の調整と実施・促進につきまして必要な調査及び審議を行うために設置されている委員会でございます。また、事業の実施状況などについても説明を受けております。

本日の委員会につきましては、報告事項が2件ございます。

今では、私たちの生活に欠かすことのできない下水道であります。その事業内容などなかなかわかりにくい点もあろうかと思われまふ。そういった点につきましてもご遠慮なくご質問いただければと思ひますので皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

以上を持ちまして挨拶とさせていただきます。

(5) 会長職務代理者の指名

- ・会長の指名により、2番小島哲夫委員に決定した。

(6) 議事録署名委員の指名

- ・会長の指名により、3番黒田正志委員と9番大友克志委員に決定した。

(議事に入る前に、事務局から会議の公開・傍聴要領の説明を行った。)

(7) 議事

・報告第1号「名取市下水道事業の概要について」及び報告第2号「農業集落排水事業(大曲地区)の公共下水道事業への統合について」について、「令和4年度第1回名取市下水道建設委員会資料」に基づき、事務局から説明を行った。

(8) その他

(委員) 下水道とは直接関係がないのですが、上水道で来年からメーターの検針をやめて自動化を行うと報道され、全国で3番目とか言っていたのですが、信頼性はあるのでしょうか。

(事務局) 信頼性というのは測定誤差といったものかと思ひますが、どちらも計量法に基づき、合格したものを使用することとなっております。実績としまして、東京都のほうでは既にスマートメーターを設置しているところでございます。下水道部

門では詳細なところまでは把握しておりませんが、名取市でも一部地域で今年度から設置し、そして来年度以降も進めていくというところでございます。

(委員) 検針員はいなくなるのでしょうか。

(事務局) 当面はスマートメーターによる通信がありつつ、検針もしていくというところで、その確認が済んだのちにはスマートメーターが設置されたところは検針が必要でなくなるというものです。

ただし、すべての地区がすぐにスマートメーター化ということではないので、ある程度の時間はかかると考えております。

(会長) 電力のメーター検針と同じようなものですよ。

(事務局) 電力も名取市内では 90 パーセント程度がスマートメーター化になっているかと思えます。電力と共同でメーターをつけて、電力のスマートメーターシステムを一部使用しながら運用していくというような方法になります。

(9) 閉 会

以上、会議の顛末を記載し、その正当なるためここに署名する。

令和 5 年 3 月 28 日

名取市下水道建設委員会

会 長

八巻 健

署名委員

黒田 正志

署名委員

大友 克志